

令和2年度 大阪府立港南造形高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

令和2年度、第1回「学校運営協議会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面会議とし、「本年度の取組の概要（校長）」、「各分掌、各学年より本年度の取組について」を文書にて令和2年8月7日（金）、全委員に送付し、ご意見をいただきました。

委員 美濃 幸男 大阪樟蔭女子大学 非常勤講師 ※敬称略
本田 妙子 大阪市立春日出中学校 校長
渡邊 美香 大阪教育大学 准教授
宮原 康 近畿大学 非常勤講師
佐野 悦子 さざんか平林協議会 副会長
文野 忍 本校PTA役員

事務局 校長、教頭、事務長、首席、教務部長、進路指導部長、生徒支援部長
企画広報・生徒会部長、保健部長、庶務・PTA部長、造形科長
第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任

1 報告

(1)「本年度の取組の概要」（校長）

4月当初のもの

1 令和2年度の方向性

- 1 誰もが関わる生徒支援、生徒指導、生活指導、担任・副担任のSHR分業
- 2 個人に仕事がついている状況を改善していく、分掌が違っていても関わる、一人や二人だけで仕事をしない
- 3 期間を明確に、目的を明確にして、生徒を巻き込んだ生徒指導、補習、講習
- 4 相談し易い環境、相談場所、明確に知らせる

- 職員室は原則生徒入室禁止、職員室前に指導機を設置
- 個人情報の管理の徹底
- 生徒登校時の門番は、目的を明確にして定期的に行うことに変更
- 教室・準備室・職員室の整理整頓 ⇒ “〇〇準備室”を作らない ⇒個人の物置場ではない
- 文書・資料の共有 ⇒電子データの共有
- 生徒への情報発信、情報共有

2 校内体制の充実

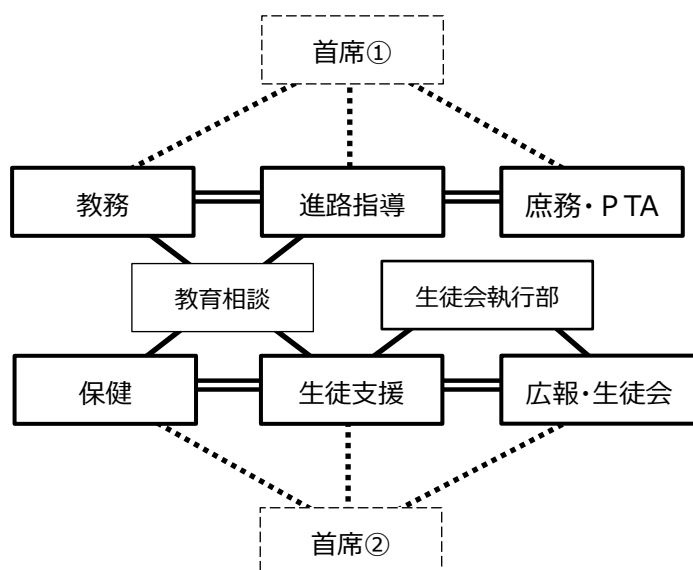
従来の特定の業務が特定の個人に付いている状態を見直す。

例えば、頭髪や装飾品等の指導を生徒指導部が行うのではなく、全教員で行う。具体的には、授業内でも“必ず声を掛ける。”（ただし、追い詰めない）問題行動の対応に「生指の先生はどこ？」のような対応をしない。

また、「体育祭」「文化祭」は、実行委員会形式で担当する。

各学年間の連携は、「経営連絡会」を中心に行う。

分掌間横断・連携のイメージ



分掌間の横断・連携

各分掌が独立して業務を行うのではなく、連携して、グループとして業務を行う。

「生徒指導部」は、生徒向けには「生徒支援部」とし、「広報・生徒会」「生徒会執行部」と連携し、遅刻指導、『生徒心得（服装・頭髪等）』の指導を進めていく。

また、「保健部」と連携し、「教育相談」を始めとした生徒の支援を進めていく。

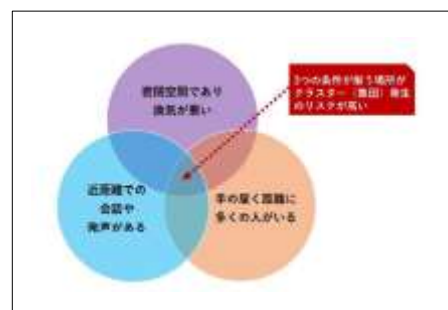
「教務部」「進路指導部」が連携し、成績等を扱っていく。

生徒の支援においては、「教育相談」にも関わっていくことになる。

3 学校再開に向けて ※通常の授業再開は難しい

「新型コロナウイルスによる重篤生徒を絶対につくらない！」

- 始業式は放送、文書で伝える ⇒各分掌、各学年5行程度をメールで教頭先生まで
- 入学式は、卒業式と同様にできるか？
- 窓を開ける2ヶ所、マスク着用、マスク作成支援（HP 公開済）
- 毎朝、検温の必要あり（3月23日～4月7日の記録のサンプル配付あり、HP 公開済）
- 保健室と別の発熱生徒対応の部屋 ⇒生徒会室
- 古いアルコールで器具・物の消毒
- 食堂は対面禁止
- 校外学習は、秋に延期
- 体育祭は、11月に延期
- 修学旅行は、状況により判断 10月 ⇒2021年3月？
- 蒼風会（同窓会）⇒本校での開催なし
- 全国美術系大学・短期大学合同説明会中止
- 海外交流（姉妹校：台中第一高級中等学校来校）延期 ⇒2021年1月
- 海外交流（イタリア研修）延期 ⇒2022年1月
- 奨学金説明会 ⇒出来るだけ早い時期に開催



8月現在

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度の3月2日（月）から全国すべての学校が臨時休校（休業）となり、さらに「緊急事態宣言」が出され、今年度になっても4月、5月は臨時休校が続き、6月1日（月）から分散登校、6月15日（月）から通常授業になり、現在に至っています。

「入学式」は6月15日（月）に、昨年度の「卒業式」同様、新入生・保護者・教職員のみで行いました。その後の、“恒例”の「対面式」「新入生歓迎会」は実施できませんでした。

今年度は、“例年通り”のことは何もできません。

「体育祭」「文化祭」は、「体育的行事」「文化的行事」として11月に、内容や参加者を大幅に変更・縮小して

開催する予定です。外部公開はしない予定です。

また、10月に予定していました第2学年（17期生）の「石垣島」方面への「修学旅行」は中止といたしました。来年の3月に、内容等を大幅に変更した「修学行事」として実施する予定です。

新型コロナウイルス感染症は、7月上旬までは比較的落ち着いていたのですが、現在は、東京を中心に全国に拡がり、大阪でも連日200名前後の感染者となっています。

7月中旬以降、本日まで、府立学校14校が3日間以上の休校になっています。

学校の活動には、まだまだ制限が続きます。

本校では、生徒の新型コロナウイルス感染症への意識が非常に高く、基本的な感染症対策（手洗い、マスクの着用、換気、密を避けるなど）を生徒が主体的に行うことができています。

感染症への対策はできていますが、これまで求められてきた「コミュニケーション能力」の育成には、マスク越しでは表情を十分に読みとることができません。もとより、よく見ないと誰か分からないこともあります。全員がマスク着用・ソーシャルディスタンス、これまで誰もが経験しなかった状況です。

この厳しい状況がいつまで続くかはわかりませんが、学校運営協議会の委員の皆様におかれましても、体調管理には十分注意されますよう、お願いするとともに、本校へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

（2）各部・科より報告

①教務部

（1）年間行事予定の大幅な見直し

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止による、4月と5月の臨時休校に伴う授業日の確保として、土曜授業の実施、夏季休業期間の短縮。
- ・満員電車による通学における3密を避けるために始業時間の変更。
（始業時間：午前8時50分→午前9時00分）
- ・文化祭や体育祭の実施形態や内容を例年より大幅に変更し、11月実施予定。
- ・今年度の学習の遅れを考慮した来年度の教科書選定委員会を中心に教科書を選定。

（2）今後について

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による2度目の臨時休校等、不測の事態を想定し、柔軟かつ臨機応変に対応できる体制づくり。

②生徒支援部

（1）今年度から変更した点

- ・生徒の学校生活をサポートすることを目標として、生徒指導部の名称を生徒支援部へ変更。
- ・遅刻生徒の入室手続きの時間短縮を目的とした、入室許可証の様式の簡素化。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、家庭の経済状況悪化によるアルバイト増加への対応として、アルバイト許可証の廃止。

③企画広報・生徒会部

(1) 学校広報について

- ・今年度の学校説明会は、例年通りの実施（7月、11月、1月）はできないため、11月21日（土）に「第1回学校説明会＋実技講習会」を開催予定。同じ説明会の内容を1日に3回実施することによって、参加者の3密を防ぐ。
- ・「個別学校説明会」は昨年度と同様に9月から開催（水曜日の午後全11回）。少人数での学校説明と施設見学を実施し、特に本年度はこの個別説明会に注力する。
- ・学外での学校説明会は、毎年実施している全府立高校参加の「大阪府公立高校進学フェア」（7月）は中止となり、Web開催となった。また、大阪市の各区が実施する地域の説明会も多数が中止となっている。

(2) 学校行事について

- ・今年度の体育祭、文化祭は開催中止。この代替として「港南祭（仮）」を計画中。「今できることを無理のない範囲で」開催できるように運営に配慮する。港南祭（仮）は「アートフェスティバル」と「スポーツフェスティバル」の2本立ての構成とし、同時に中止が決定している「大阪府高等学校美術・工芸展（高校展）」に代わる作品発表の場としての校内展も開催したい。

④進路指導部

(1) 進路説明会について

- ・5月27日（水）：「3年生対象進路説明会」進路志望別（6グループ）に分けて実施。同時に生徒の進路希望調査も実施。
- ・6月27日（土）：昨年度より延期していた「2・3年保護者対象予約奨学金等説明会」を日本政策金融公庫より講師を招き、実施。3年生保護者79名、2年生保護者19名が参加。
- ・7月1日（水）：本校で開催する「生徒対象一般分野進学説明会」に大学、専門学校あわせて15校が出展し、3年生12名、2年生12名参加。
- ・8月6日（木）：本校で開催する「関西美術系大学・短大合同説明会」に大学、短期大学あわせて、12校が出展し、3年生が参加。

(2) 就職指導

- ・就職補習：6月15日より週2回放課後に補習を実施（例年は4月から週に1回の実施）。
- ・就職面談：7月29日・30日・31日で学校紹介就職を希望する生徒の受験事業所の決定。

（本人・進路指導主事・進路指導部就職主担・担任が出席）

- ・応募前職場見学：教員引率のもと、8月上旬から適宜実施。
- ・学校紹介就職応募書類：10月5日から順次送付。
- ・学校紹介就職試験：10月16日から順次実施。

(3) 進学指導

- ・学校推薦型選抜（指定校）：7月27日（月）より校内で指定校一覧を公開。8月6日（木）に生徒より申し込みのあった指定校を選考。
- ・河合塾全統マーク模試：第1回は6月に自宅受験で実施。第2回は、8月24日・25日・26日に校内で実施予定。

(4) 3年生(16期生)進路希望(6月1日現在)

	大学・短大	専門学校	進学先未定	学校紹介 就職	未定	合計
男子	29	11	3	1	1	45
女子	90	30	7	11	4	142
合計	119	41	10	12	5	187

⑤保健部

- (1) 生徒の体調管理、新型コロナウイルス感染症を防止する新しい生活様式の意識づけについて
 - ・生徒が自分で体調を管理する「健康観察カード」の配付。
 - ・毎月「ほけんだより」を発行。
 - ・登校時の生徒ロッカー室での手洗い、消毒、検温、咳エチケット指導の徹底。
 - ・食堂で対面着席の禁止、座席間隔や導線指導による感染拡大防止対策の実施。
 - ・食堂での3密回避指導の実施。
- (2) 各種検診について
 - ・待機の場所の最大人数、導線、更衣場所の工夫など感染拡大防止の対策を行い、心臓・結核検診、内科検診、歯科検診等を実施。
- (3) 学校薬剤師による各種検査
 - ・環境消毒指導、照度調査、水質検査、プール水質検査、保健室内のダニ検査の実施。

⑥庶務・PTA部

- (1) 入学式について
 - ・新入生以外の参加については、保護者のみを参列可としたが、多くの保護者の参列があった。
- (2) PTA活動について
 - ・PTA総会は書面表決で実施。新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者対象の社会見学・文化講座は、今年度は実施しない方向で調整。

⑦第1学年

- (1) 学校生活について
 - ・学校の開始が例年よりも約2か月遅れ、新入生はさまざまな不安を抱えながら、ようやく学校生活に慣れてきており、部活動を行うなどの余裕が出てきた。部活動の入部状況は7月末現在で154名が入部。
 - ・来年実施予定の修学旅行については、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、行先や実施方法など、改めて検討する必要がある。

⑦第2学年

(1) 在籍者数について

- ・現在、197名が在籍。

(2) 修学旅行について

- ・10月8日（木）～10日（土）2泊3日の石垣島への修学旅行は中止。行先、内容等を大幅に変更して代替の行事について検討する。

(3) 希望進路について

4年制大（国公立）	12.2%
4年制大（私立・大学校）	17.9%
4年制大（未定）	16.8%
短期大学（看護医療系以外）	7.1%
専門学校（看護医療系）	0.5%
専門学校（看護医療系以外）	15.3%
就職	5.1%
未定	22.4%

⑦第3学年

(1) 第3学年の現状について

- ・臨時休業中の5月登校日に進路ガイダンスとスタディーサポート（ベネッセのテスト）を実施。
7月初旬に生徒全員を対象とした三者懇談を行い、進路志望を確認した。受験に向けて、学習の遅れが心配されているが、曜日と科目を決めた進学講習を行い、期末考査後の授業では造形科目を重点的に取り組むことで補っている。

⑧人権教育推進委員会

(1) 生徒対象人権教育について

- ・「ネット・SNSとの付き合い方について」をテーマとした、講演を実施。携帯電話やSNSに関するマナー講座であり、本校では、このテーマで6年連続講演を実施している。サイトやSNSにおけるルールと危険性、などの内容を、毎年内容を少しずつ変えて説明してもらっている。

(2) 教職員対象人権研修計画

- ・8月18日（火）に、「同和問題」に関する教職員研修を予定。

2 協議（書面による各委員からのご意見）

委員からのご意見

「本年度の取り組みの概要」について

- ・重点的に取り組みたい課題を非常によく整理分析されていると思います。
- ・画一的な縦割りや横割りになりやすい校内組織と教職員の意識を、柔軟に「生徒をよりよく育成する」という観点から連携させていくという姿勢がうかがえることに好感を持ちました。
- ・コロナ禍収束は全く予測できない状況ですが、この時期だからこそ学校として、教員として柔軟な対応力が求められると思いますので、この方針を大切にしてください。

①教務部からの報告について

- ・現状では、あって無いような教育計画や行事計画を立案していく虚しさを感じますが、これからも起こりうる不測の事態への対応は、柔軟かつ敏速にお願いしたいと思います。
- ・朝の交通機関の混雑を考えれば、始業時間を変更されたことはよかったと思います。

②生徒支援部からの報告について

- ・生徒指導部からの名称変更は、分掌の目的を明確に伝える意味からもよかったと思います。
- ・入室許可証の様式簡素化はヒットだと思います。
- ・アルバイト許可証の廃止についても、先の読めない時流をよく捉えていると思います。

③企画広報・生徒会部からの報告について

- ・今までの経験を生かせない広報活動は大変だと思います。Web 開催の進学フェアではなかなか受験生の反応をつかむことはできないと思います。
- ・参考にはならないかもしれませんが、勤務校の大学でも YouTube を使った説明動画を配信していますが、動画ならではの repeat 機能が役立っています。もう一度聞きたい箇所だけを受験生が繰り返し見られるというのは利点だと思います。

④進路指導部からの報告について

- ・この状況下の進路指導は、非常に大変だと思います。できる範囲で進路指導や説明会をこなしていくしかないのですが、生徒は先生方の対応をよく見ています。いつもどおり丁寧な指導をお願いします。

⑤保健部からの報告について

- ・健康観察カードは手間のかかるものですが、毎日生徒の健康状況を把握できるものなのでよろしくをお願いします。
- ・各種検診については、三密を避けての実施なので時間と手間がかかることだと思います。

⑥庶務・PTA 部からの報告について

- ・式典は当面簡素化だと思います。また、PTA 総会の書面表決もやむを得ないと思います。

⑦各学年と⑧人権教育推進委員会からの報告について

- ・特に1年生のクラスづくり、部活動の推進が大変だと思います。とりわけ、造形力は他人からの刺激で大きく育つものです。距離感を保ったなかでどのように生徒の造形力や人間形成を高めていくのか、感じたことを学年団や教員全体で共有していくことが大切だと思います。
- ・私も、人権教育はネット・SNS との付き合い方が今年度の一番のポイントになると思います。
- ・最後に修学旅行などの行事の中止はやむを得ないことですが、感染状況を踏まえながら生徒たちに何か残してあげたいと私も心から願っています。

委員からのご意見

コロナ対策、ほんとうにおつかれさまです。実習メインの専門高校ですし、普通科の学校と比べて何倍も対応がむずかしいと思います。

先生方の働き方改革(?)はとてもいいと思いました。「個人に仕事がついている状況の改善」など。

生徒に関することがらは全てつながっているし、ひとりの方が何年間も同じセクションを担当されると(メリットも多いけれど)かたよりが出たろうし、分掌が違ってもかかわる、分掌間の連携横断は多くの人の考えが反映されることもありそうで良さそうです。

ただ、生まじめな人は考えることが増えてよけいにたいへんかもしれませんね。

私が大学で担当している授業を、ことしも港南の卒業生がとっています。「港南の先生方には愛があった」といっていました。基礎的な造形力はしっかりついているし、ONLINE授業についての意見もしっかり言ってくれる頼もしい学生です。愛がある先生方がよい生徒を育てておられ、すてきやなーと思いました。先生方、職員の皆様、心身の健康に留意なさってください。

委員からのご意見

(1) 令和2年度 本校、本年度の取組の概要について

1. 令和2年度の方向性

・個人情報の管理の徹底 → 具体的な策とは? その管理方法の周知はできるのか?

・生徒登校時の門番は目的を明確にして定期的に行うことに変更

→ 日により先生方の人数に差があったり、いらっしゃらない時間帯があったりするとの事、生徒達もあまり目的などを理解していない様なので、変更される事に期待

2. 校内体制の充実

提案内容・イメージ図説明等、わかりやすく、この様に進めて行かれる事は、とても良い事だと思いました。しかし、生徒への指摘・指導において、今ある校則・風紀の基準が、先生方に一律した認識であるのか? またそれぞれ近しい基準で判断してくださるのか? が気になります。

先生によって判断が違い、言われる事が異なると生徒が困惑します。その認識基準の統一、共有がなされる様にして頂ければいいなと思います。

3. 学校の再開に向けて

・毎朝、検温の必要あり

→ 門番の先生が体温計を持っていたり、生徒ロッカー室に設置されていたり、放送での検温の呼びかけ、健康観察カードの配付等、行って下さっていますが、実際、習慣化はまだ定着していない様子。(別の学校では、検温カードのチェックで、子どもの毎朝検温の習慣化ができました。)

確認するとなると、先生方の手間や表の回収時間確保等、実際には難しいですが、今取り組んでいる事が中途半端にならない為にも、工夫が必要なのではと思います。

・古いアルコールで器具・物の消毒 → 古い? 新しい?

(2) 各分掌・各学年より本年度の取組について

②生徒支援部

・アルバイト許可証の廃止

→ 学校としては、アルバイトを許可する形となるのですか? それともあくまで許可証の廃止のみの対応という事ですか?

③保健部

・食堂での3密回避の指導の実施

→ 食堂ではしっかりと実施されている様ですが、教室内で食べる生徒達の対策はどうでしょうか。食事の時間くらいは楽しくさせてあげたいと思うので、複雑な気持ちですが…。

(授業再開より、学校・生徒達の感染防止への意識の高さが、現在も感染者0につながっているのだと思うと、本当に有り難く感じております。今後も継続して頂けることを願い、また、協力させて頂ける事は取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。)

委員からのご意見

送付いただきました資料より、令和2年度の取組について、教員の皆様がコロナ禍の不測の事態にもかかわらず、生徒の安全で安心を保障するために熱心に知恵を出し合い取り組まれていることが分かりました。

生徒指導は、教師全員で行うものであり、指導部を支援部とされたことに、好感をもちました。生徒が必要とするサポートがどのようなものか、情報収集しつつ、ケアしていくことで、一人ひとりの自立を促していくことができるのではないかと思います。

例年通りの研修や祭事ができないことは、本当に残念であり、生徒たちには、かわいそうな状況であると存じます。その代わりに何か、記憶に残るような出来事があれば…と考えております。本意見書に書くことではないかもしれませんが、現在、私の研究室に教員研修生としてスウェーデンの英語と美術2教科を担当されている先生が来ています。貴校見学兼簡単なスウェーデンの美術に関する授業などもやっていただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。秋のコロナの状況にもよりますし、一つの案として、ご提案です。

資料には、特に記載はありませんでしたが、ICT導入によるオンライン授業の取り組みなどは、どうだったのでしょうか？こちらの方も少しずつコンテンツ(デジタル)を増やしていくなどの課題もあるのではないのでしょうか？本意見書も紙面でのやりとりをさせて頂いておりますが、メール等での提出が可能になると嬉しいです。

最後になりましたが、年度はじまりからこれまでの先生方のご苦勞と対応に何よりも敬意を表します。まだまだ予断を許さない状況ですが、引き続き、よりよい学校となるよう応援しております。皆様くれぐれも健康でお過ごし下さい。